

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
ビー玉迷路を作ろう	高	美術 Ⅱグループ (美術)	福島孝一郎

<ねらい>

- 木片を使って、コースをイメージして考えながら迷路を作る。
- 木片に丁寧に色を塗ったり、台紙に木片を接着したりする。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

生徒が作品作りのイメージを持てるよう、見本を見せながら説明をした。

- ①台紙を用意し、その上に木片を置いていき、ビー玉が通るコースを考えた。この時、接着剤はまだ付けないよう伝えた。
- ②ビー玉が通るコースが決まれば、木片を台紙に接着剤で付けていった。この時、ビー玉が通る幅より狭くならないよう伝えた。
- ③接着剤が乾けば、4～5色のポスターカラーを使い、木片に色を塗っていった。他の木片にポスターカラーが付かないように伝えた。また、少しずつ丁寧に塗るように声をかけた。
- ④コースになる木片に色を塗り終われば、ビー玉が通るルートに白色のポスターカラーを塗った。



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- 美術の授業に興味を持ちにくい生徒でも、自分で考えてコースを作り、作品を作っていくことができた。
- 生徒が自由に考えて好きなコースを作り、カラフルな作品に仕上げることができた。
- 作品を作った後、実際にビー玉を転がせて、楽しみながら遊ぶことができた。
- 台紙に木片を貼り付ける時に、仮のコースを作れるような工夫ができれば良かった。

<その他(材料、費用、購入先等)>

材料：台紙、木片、ポスターカラー、おわん、筆、接着剤、新聞紙
費用：特にかからなかった。